

会員各位

一般社団法人 型技術協会

第34回型技術協会賞受賞者の決定について

本会では、型技術ならびに型産業のより一層の発展を図ることを目的に「型技術協会賞」を設け、1991年より「功績賞」「技術賞」「型技術論文賞」、1996年より「型技術者会議」および「型技術ワークショップ」の発表より総合的に優秀な講演者等を顕彰する「奨励賞」が設置され、特に優れかつ貢献度の高い型に関する技術等に対して、毎年顕彰を行っております。本年もそれぞれの受賞者を決定いたしましたので、ここに各々の受賞者をお知らせいたします。

なお、本賞における賞金および表彰に関する費用につきましては、(公財)金型技術振興財団の協力を得て行っております。

表彰式は「型技術者会議2024」開催中の下記日程で行います。多数のご参加をお願いいたします。

贈賞式(総会含む)

日時：2024年6月20日(木) 15:00～16:00

場所：大田区産業プラザ PiO

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20

(JR 京浜東北線 蒲田駅より徒歩13分、京浜急行 京急蒲田駅より徒歩3分)

* 「型技術者会議2024」の参加はお申込みが必要となります

第34回型技術協会賞

「功績賞」

型技術の進歩、向上、発展に関して特に功績の大きかった個人

受賞者 白瀬 敬一 (神戸大学)



工作機械の知能化・自律化、エンドミル加工の切削力シミュレーション、工程設計および次世代CAMの開発など、多数の生産加工技術の研究実績があり、世界的にも先導的な役割を担った。これら研究成果の産業界への影響力は大きく、生産加工分野の発展に寄与するとともに、型関連技術や金型関連産業の発展にも大きく貢献するものである。

「技術賞」

特に優れた貢献度の高い型技術の開発者 (一般公募)

受賞題目及び受賞者

カーエアコン用ターボファン 一体成形技術開発

伊藤 匠、小島 宏司 (株式会社デンソー)

「型技術論文賞」

「型技術」誌に掲載された特に優れた論文等の著者

受賞論文及び執筆者

Co2 を 1/10 に低減するアルミ合金ダイカストの

SPR 接合用レーザー熱処理技術の開発 (2023.6月号)

阿久澤 功、青山 俊三、近藤 吉輝、酒井 信行 (株式会社アーレスティ)

高意匠を実現する新材料『NeCycle』の提案

—美しい漆黒の美観を実現— (2023.8月号)

小澤 拓馬、志田 絢加 (NECプラットフォームズ株式会社)

佐野 雄斗 (日本電気株式会社)

樹脂成形CAEシステム『3D TIMON』の

そり変形対策ソリューション (2023.11月号)

山川 耕志郎 (東レエンジニアリングDソリューションズ株式会社)

「奨励賞」

型技術者会議および型技術ワークショップにおける優秀講演者および連名者

「型技術者会議 2023」

スクラップ落下シミュレーション DX の取組み

柴田 康徳 (株式会社 SUBARU)

高効率ホットスタンプ加工技術

平尾 嘉英、井上 誠二、大川 慧 (マツダ株式会社)

「型技術ワークショップ 2023」

少量生産におけるインクリメンタル成形の適用拡大

高山 滉平、山本 博己 (トヨタ自動車株式会社)

プレス工程集約技術開発 -SPO 2 工程化への挑戦-

坂井 裕 (本田技研工業株式会社)

ユーザーが構築する安価で実用的な機上計測システム

佐藤 泰士、針原 保 (ヤマハ発動機株式会社)

※所属は論文掲載時による